

デジタル技術の活用及び DX 推進の取組状況

① デジタル技術が社会や自社の競争にどのような影響を及ぼすか

デジタル技術の進歩はめざましく、今や、パソコンやスマートフォン、インターネットが生活や事業活動を行う上で不可欠なツールとなっています。今後もデジタル技術は進展し、我々にとってさらに重要なインフラ・経営資源になる事は明らかです。このような社会状況の中、当社事業を成長発展させお客様のお役に立つためには、デジタル技術を活用した生産性の向上とお客様の利便性の向上が不可欠であると考えております。

② 経営ビジョン及びビジネスモデル

堅牢なセキュリティー体制の整備を前提に、お客様情報や事務管理の全てをデジタル化し、迅速且つ正確なサービスを提供できる体制を構築致します。これにより、お客様の利便性の向上と満足度の向上及び、当社の生産性の向上を図り、末永くお客様とお付き合いできる企業を目指します。従業員の就業環境をより良いものとし、ワークライフバランスの向上と従業員1人あたりの賃金増加も目指します。

③ 経営ビジョン・ビジネスモデルを実現するための戦略(DX人材育成含む)

「廃棄物処理業務効率化システム」を構築します。廃棄物処理業務をクラウド上で管理・効率化することでサービス品質の向上を実現し、顧客満足度と利便性を大幅に向上させます。

④ 戦略推進のための体制・組織

代表取締役金澤が CIO(最高情報責任者)を兼務し、CIO をリーダーとした情報システム部門(プロジェクトチーム)を発足します。

また、IT コーディネータ資格と IT パスポート資格の取得を推進し、各1名以上を情報システム部門に所属させることを目指します。

さらに、社内外の研修や勉強会に従業員を参加させ、情報システムに精通した人材を育成します。